

全ての人々に平等な空間を

【札幌校】

ダイバーシティの実現に向けた
「だれでもトイレ」整備事業

事業計画に関するお問い合わせ

国立大学法人北海道教育大学札幌校
総務企画部札幌校室
<https://www.hokkyodai.ac.jp/sap/index.html>
〒002-8502 札幌市北区あいの里5条3丁目

電話: 011-778-0304
E-mail: s-sap@j.hokkyodai.ac.jp

「キャンパス活性化リノベーション事業」
キャンパスの再生と創造への「共感」。

【札幌校】ダイバーシティの実現に向けた「だれでもトイレ」整備事業

事業の概要

区別のない空間づくりから心のバリアフリーを啓発し、ダイバーシティの実現へ

経年により老朽化した男女トイレを、性別を問わず誰もが不自由なく利用できる「だれでもトイレ」に再生することで、学生により良い修学環境を提供するほか、札幌校全体として多様性に対する意識を高め、利用する全ての人々が安心して過ごせる優しいキャンパスを目指し整備しました。



学生の声

札幌校は、大部分のトイレが男女別となっており、ジェンダーレストイレが少なく、休み時間に利用したくてもできないときがありました。この度「だれでもトイレ」が完成し、校内で利用するトイレの選択肢が増え、困りごとが減りました。また、着替えの場所もなく困っていたため、そのような場所ができ大変うれしく思います。

今後多様性に配慮した施設・空間が整備されていくことを望んでいます。

SOGIサークルフラット 一同

本事業に、たくさんのご関心と応援をお寄せいただきありがとうございます。

札幌校では、これまでダイバーシティに配慮したキャンパスの実現を目指し、キャンパス内のバリアフリー化を推進してきました。

「だれでもトイレ」の完成により、本学に來校する方々が安心して過ごせることができるようになり、また、多様性に対する意識醸成の機運ともなりました。

今後、このような環境で育った札幌校の学生が、すべての子供たちを思いやることのできる教員になることを心より願っております。

引き続き、皆様のご支援並びにご声援を何卒よろしくお願い申し上げます。

札幌校キャンパス長 田口 哲

整備の記録



オストメイトに配慮した汚物流し、ブルアウト水栓、化粧鏡などを設置

車いすの学生が着替えをしやすいように多目的シートを整備
乳幼児連れに配慮しベビーチェアを設置

着替えや身だしなみに配慮してフィッティングボードを全室に整備

当事業に対する寄附金 ～皆様からの【共感】～

寄附総額 2,648千円
(寄附目標額 2,250千円/達成率118%)

設置から3年以上が経過したトイレは老朽化し、和便器で使いづらく、雰囲気も暗いイメージでした。

トイレのあり方を見直し、きれいで明るい「だれでもトイレ」に改修し、外部・内部障がいのある方、乳幼児連れの方、SOGIの多様性に配慮したトイレとなりました。

本事業は、本学「キャンパス活性化リノベーション事業」の一環として行ったものです。たくさんの「共感」をお寄せいただき事業を達成することができましたことに感謝申し上げます。